

2024後期

# 特別支援教育って なんだ？

～個別の教育的ニーズと個別最適化～

#特別支援教育が特別じゃなくなる日を



# 自己紹介

大阪府立西浦支援学校 中学部  
樋井一宏（ひのい かずひろ）

教員歴：14年目

免許：中・高国語、特別支援学校

趣味：旅行・アウトドア・デニム

# 特別支援教育が特別じゃなくなる日を



# 今日の予定

- 1、特別支援教育って???
- 2、授業までの流れ
- 3、個別最適化（実践例）
- 4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

# 今日の予定

このスライド  
覚えといて！！

1、特別支援教育って???

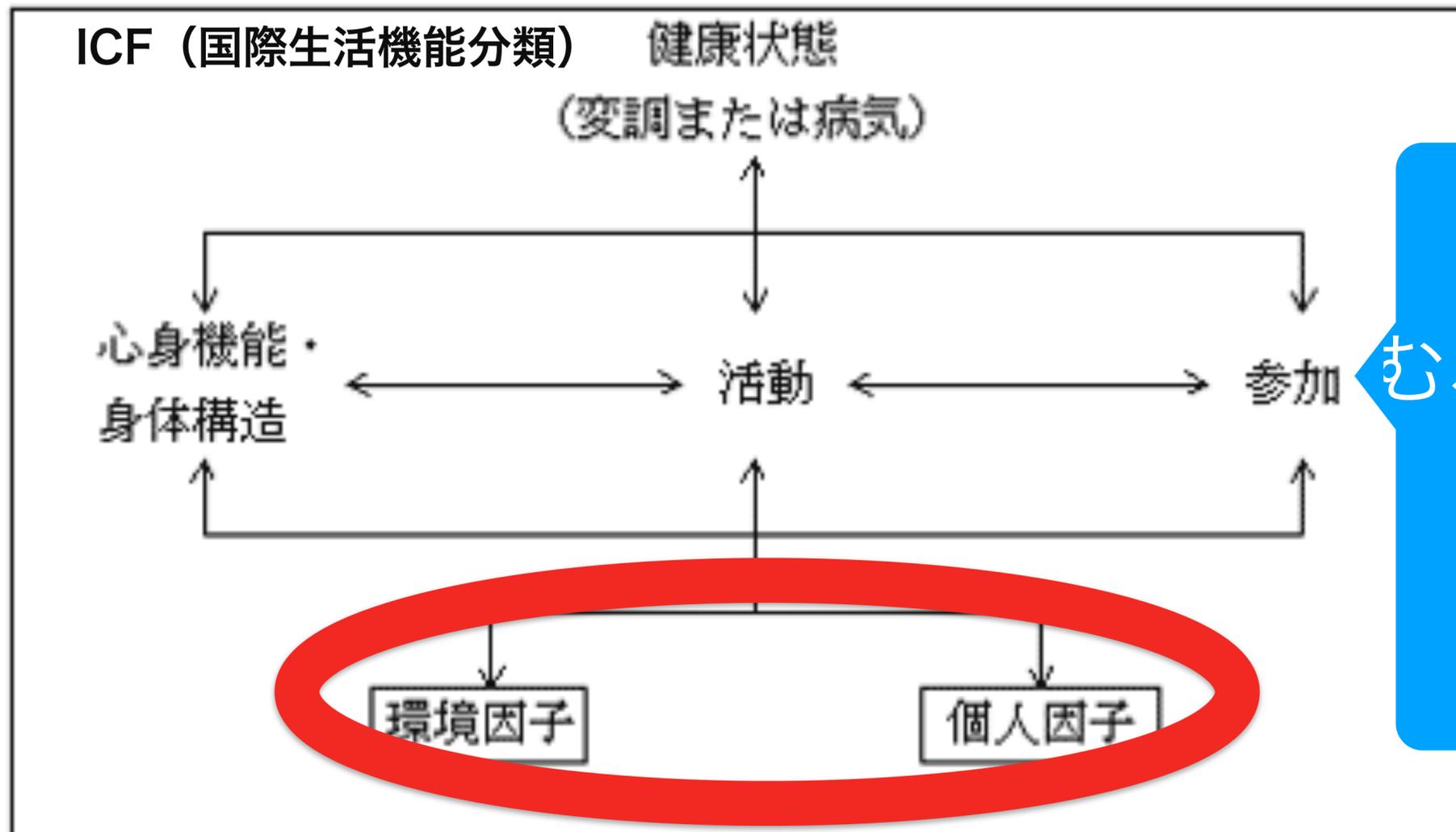
2、授業までの流れ

3、個別最適化（実践例）

4、まとめ #特別支援教育が特別じゃなくなる日を

# 僕の立ち位置

障害ってなんだ？



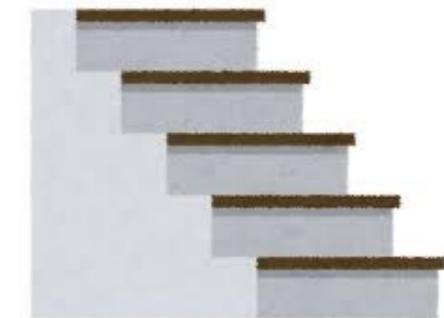
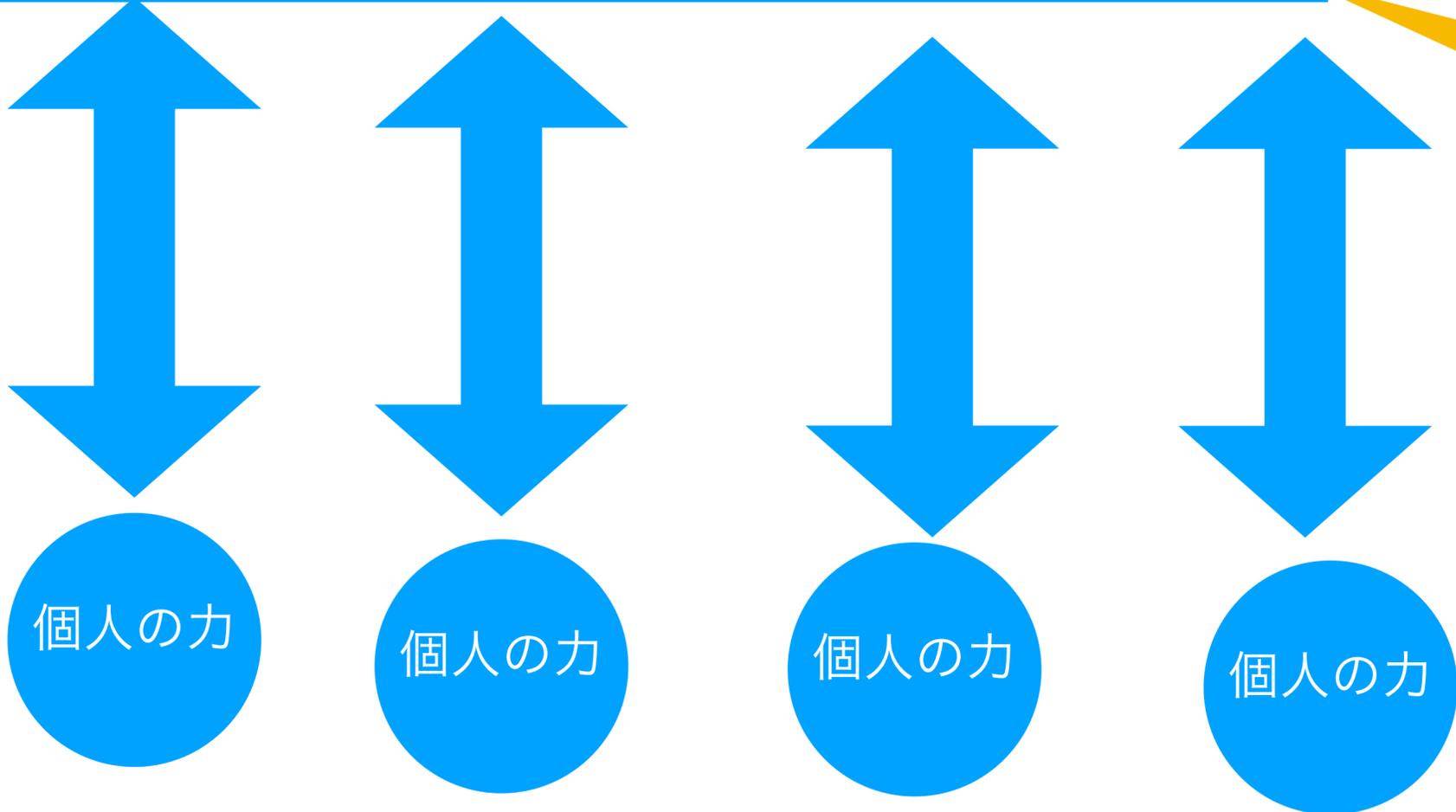
む、難しい……。  
何のことやら

# 超個人的解釈



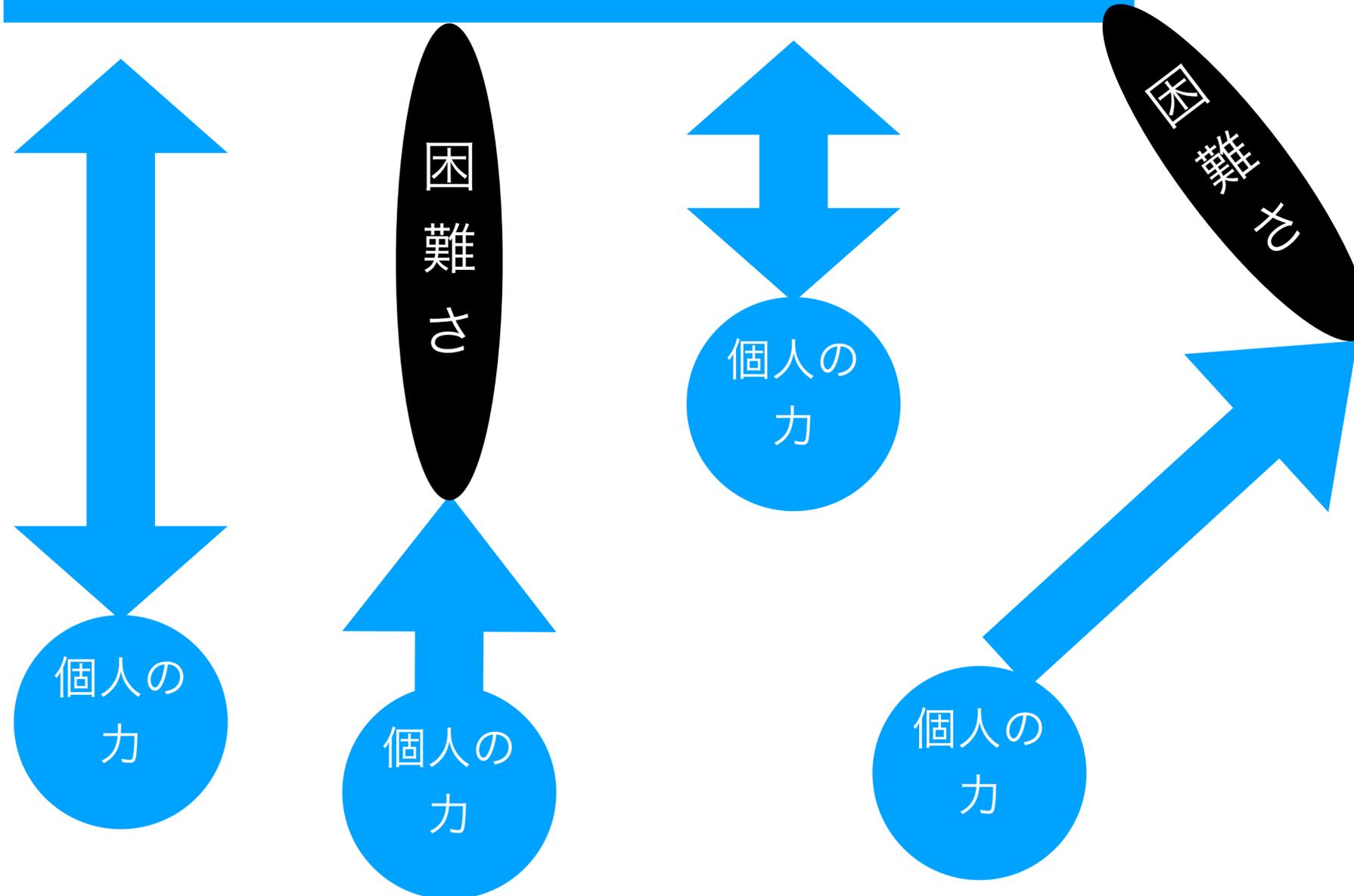
社会のデザイン→ (マジョリティ)

多くの人  
が使いや  
すい



# 障害が生じるところ

社会のデザイン→ (マジョリティ)

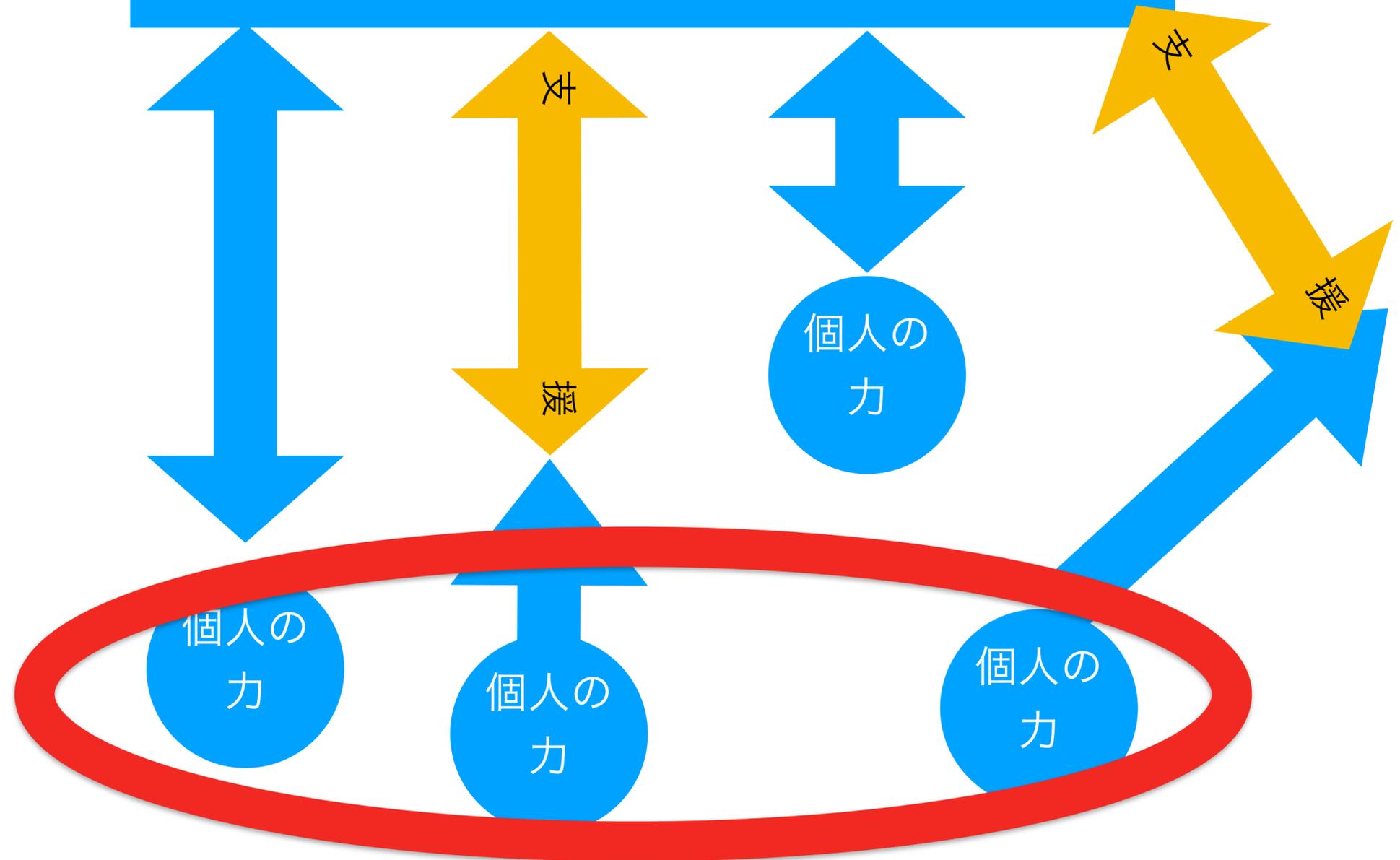


# じゃあどうするか？

社会のデザイン→（多数派）

個人の  
気合いと努力ではない

社会のデザインに  
アクセスできる方法を  
考える



障が<sup>が</sup>いい？

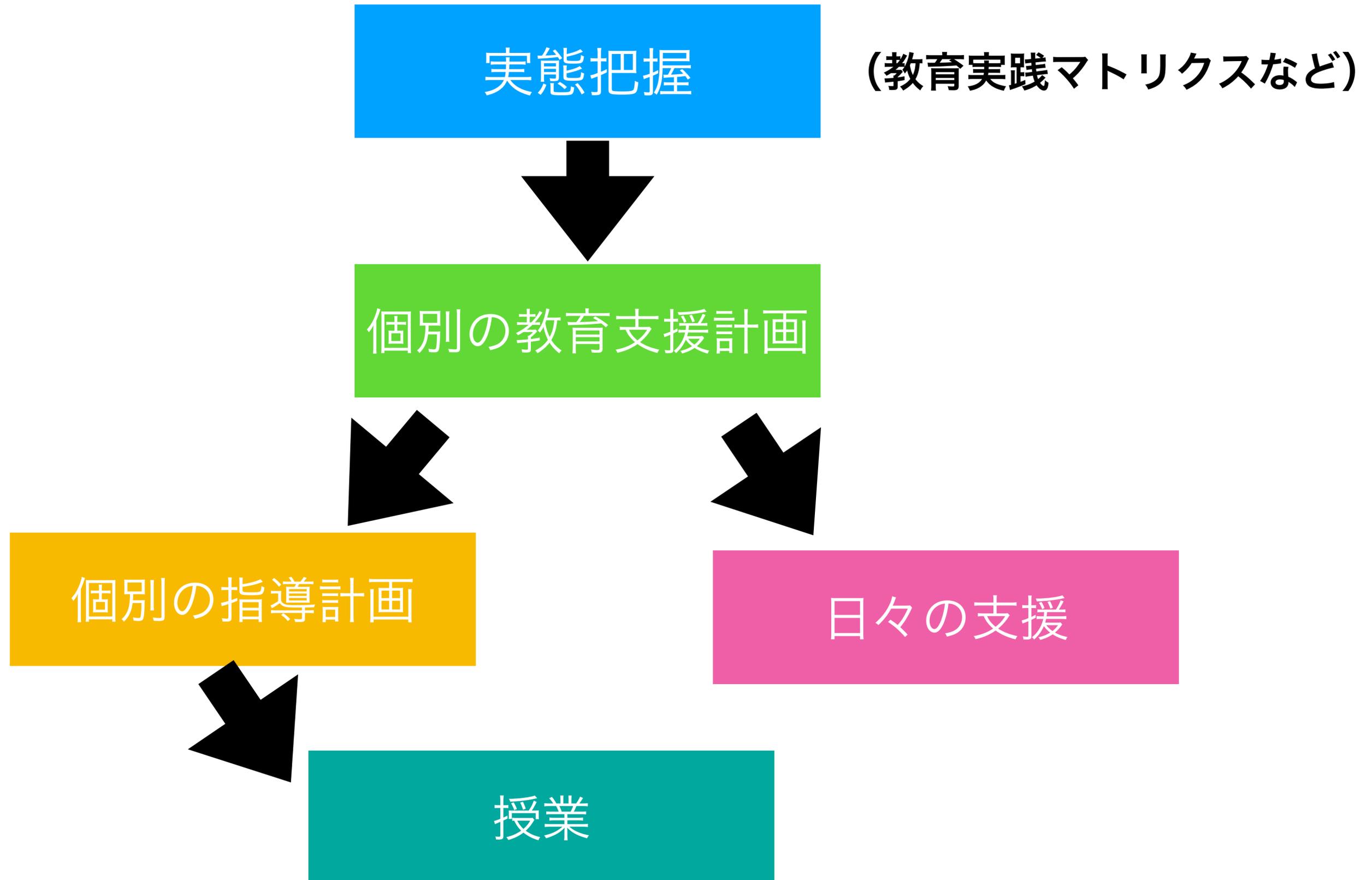
障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

# 今日の予定

- 1、特別支援教育って??
- 2、授業までの流れ
- 3、個別最適化（実践例）
- 4、まとめ #特別支援教育が特別じゃなくなる日を

# 授業までの流れ



# 実態把握

## 最も重要

子どもたちの様子をよく観察する

何を？

得意なことは？ ＊仮説

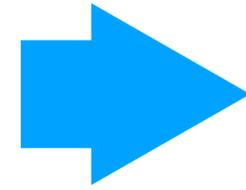
苦手なことは？ ＊仮説

どんな支援が必要？ ＊仮説

# 何をどう考えるか。

1、何に困っているか

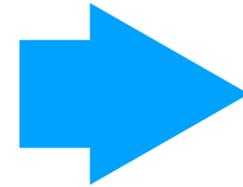
いつ?どんな時?



どうなって欲しいか

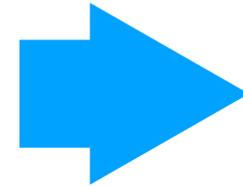
原因は

2、なぜか?



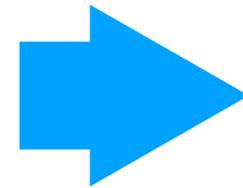
何が隠れてる? 【仮説】

3、どうすれば良いか?



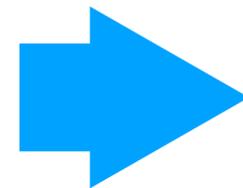
支援の方法 【立案】

4、やってみよう!!



実践

5、どうだった?



日々の生活の中で確認  
【評価】 \*継続または2に戻る

# 教育実践マトリクスについて



本校独自の  
「実態把握」  
「課題設定ツール」  
「学びの記録」

小中高12年間で  
身につけてほしい力の  
「地図」

16の力	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1. 主体的に学習する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
2. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
3. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
4. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
5. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
6. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
7. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
8. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
9. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
10. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
11. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
12. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
13. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
14. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
15. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
16. 自ら課題を設定し、解決する力	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

16の力（横軸） × 12段階（縦軸）

# 学年ごとに塗る色を変えて、 変化を記録

必ずしも上のマスの目標を  
狙うものではない

地図なので1丁目と2丁目に  
優劣はない

横に伸びるのも、深まるのも  
成長

に気をつける できる 体づくりの 動(ランニン することがで	跳び箱、鉄棒、なわと び等)に合わせた活動 をすることができる □様々な模倣(体操、 ダンス等)をすることが できる	できる □あきらめずに最後まで がんばることができる	する □経験したものや事柄 を自分なりの表現で描 く	ルールやマナーを守っ て活動することができる □特定の教員(担任 等)がいなくてもルー ルを守って活動するこ とができる	使うこと □動植物 やさしい とがで
促して、食事 や食べ方に気 ことができる 足して、体力 ための運動 ング等)をす ることができる	□簡単なルールのある ゲームができる □言葉かけ等で複数の 動き(走って跳ぶ等) を連続することができる □簡単な動作の模倣が できる	□周囲の応援等で、苦 手なこと頑張っ 活動することができる □苦手なことにも短時 間向き合うことがで きる	□音楽に合わせて手を たたいたり、踊ったり することを楽しむ □好きなものを自分な りの表現(みため等) で描く	□学部や学校などの ルール(廊下を走らな い等)を守ることがで きる □小集団の中で活動す ることができる	□動植 ことを □野菜 みにし
いなく食べる 生活リズムを	□言葉かけや合図で基 本的な運動(歩く、走 る等)をすることがで きる □教員の動きを見て、 自分で体を動かす(体 操等)ことができる	□親しい友だち(クラ スメイト等)の中で落 ち着いて活動するこ とができる □複数の教員(担任以 外等)と意思疎通がで きる	□自分で音を出した り、音楽(曲)にあわ せて体を揺らしたりし て楽しむ □絵を描くことに興味 をもつ	□学級や学年などの ルール(友だちを待 つ、集団に自分を合わ せる等)を守ることが できる □友だちの中で一緒に 活動することができる	□動 (成 づく □季 化す
のも自分で ができる から食事を	□立った状態で衣服や 靴の着脱等を一人で 行う □階段や坂道の上下 りを一人でやる	□特定の教員(担任 等)と一緒に活動す ることができる □特定の教員(担任 等)と意思疎通がで きる	□好きな植物や動物が ある □好きな音楽や絵等が ある	□日常生活に必要な決 まり(手洗いをする・ 歯みがきをする等)を 守ることができる □時間(始まりの時 間、終わりの時間等) を意識することができる	□い こ □を
には休 ることが	□衣服や靴の着脱等を 少しの支援で行う □階段や坂道の上下 りを少しの支援で行う	□好きな音楽や遊具を 使った活動を、落ち着 いてすることができる □自分が安心できる環 境(場所)で、しっかり 活動することができる	□身近な植物や動物へ の興味を深める □絵(絵本)や音楽 (音)の楽しさ、おも しろさを感じる	□特定の教員(担任 等)との簡単な約束 (~ができたなら~をし よう等)を守ることが できる	□身 物の □教員 りの物
して、体 を涼しく ば水分摂 のも少し とができ	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒にやる □階段や坂道の上下 りを教員と一緒にやる	□好きな音楽やお気 入りの遊具がある □好きな遊びがある □落ち着ける環境 (クールダウンできる 方法)がある	□教員の働きかけて身 近な植物や動物に興味 をもつ □絵(絵本)や音(音 楽)に興味をもつ	□教員と一緒に順番を 守ることができる □見通しがもてれば教 員と一緒に一定時間待 つことができる	□身 物の □教員 りの物
し、夜に つける て、あそ	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒にやる □階段や坂道の上下 りを教員と一緒にやる	□特定の音楽に反応 (微笑み、振り向きな ど)する □特定のもの(おも ちゃえほん)に積極 的に関与する	□身近な植物や動物に ふれる □絵(絵本)や音楽 (音)にふれる	□気持ちが安定してい るときには、教員と一 緒に一定時間待つこと ができる □サインで待つが分か り、行動を一時とめる ことができる □着席できる	□身 物の □教員 りの物
のを中心 振ることが	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒にやる □階段や坂道の上下 りを教員と一緒にやる	□特定の音楽に反応 (微笑み、振り向きな ど)する □特定のもの(おも ちゃえほん)に積極 的に関与する	□身近な植物や動物に ふれる □絵(絵本)や音楽 (音)にふれる	□気持ちが安定してい るときには、教員と一 緒に一定時間待つこと ができる □サインで待つが分か り、行動を一時とめる ことができる □着席できる	□身 物の □教員 りの物
眠ができる しっかり活動 にしっかり眠	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒にやる □階段や坂道の上下 りを教員と一緒にやる	□特定の音楽に反応 (微笑み、振り向きな ど)する □特定のもの(おも ちゃえほん)に積極 的に関与する	□身近な植物や動物に ふれる □絵(絵本)や音楽 (音)にふれる	□気持ちが安定してい るときには、教員と一 緒に一定時間待つこと ができる □サインで待つが分か り、行動を一時とめる ことができる □着席できる	□身 物の □教員 りの物
ことへの欲求	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒にやる □階段や坂道の上下 りを教員と一緒にやる	□特定の音楽に反応 (微笑み、振り向きな ど)する □特定のもの(おも ちゃえほん)に積極 的に関与する	□身近な植物や動物に ふれる □絵(絵本)や音楽 (音)にふれる	□気持ちが安定してい るときには、教員と一 緒に一定時間待つこと ができる □サインで待つが分か り、行動を一時とめる ことができる □着席できる	□身 物の □教員 りの物

# 個別の教育支援計画

本人、保護者の願い

どんな未来をめざすか？

望む未来（3年後）から逆算する  
今年どこをめざすか

そのために必要な支援は？

3年後（長期） → 1年後（中期） → 半年後（短期）  
目標

大阪府立西浦支援学校 <様式A-4-1>

個別の教育支援計画 目標設定			
児童生徒名	0	担任	0
学部学年・組	0	0年	0組
本人・保護者の願いや期待	卒業時・3年後につけたい力		
	教育実践マトリクス 該当する項目		
年間目標			
対照するマトリクスの内容			
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項		支援の手立て 配慮事項

大阪府立西浦支援学校 <様式A-4-2>

個別の教育支援計画 目標設定

児童生徒名	0	担任	0
学部学年・組	0	0年	0組
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につけたい力	適切なコミュニケーションを取ることができる	
	教育実践マトリクス		
対応する項目			
年間目標	自分の経験したことを伝えることができる		
対応するマトリクスの内容			
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項	<p style="text-align: center;"><b>3年後→1年後</b></p> <p style="text-align: center;"><b>目標</b></p> <p style="text-align: center;">タブレットまたは紙による筆談でコミュニケーションをとる</p> <p>支援の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表は自席で行うなど発表の環境に配慮する。</li> </ul> <p>配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表場面では筆談を活用する</li> </ul>	

前期目標	担任に筆談やジェスチャーで質問や気持ちを伝えることができる
前期の様子と課題	
後期目標	筆談等で伝えることができる相手を増やす
後期の様子と課題	
次年度年間目標	
対応するマトリクスの内容	

半年後

担任に筆談やジェスチャーで質問や気持ちを伝えることができる

筆談等で伝えることができる相手を増やす

3年後→1年後

目標

タブレットまたは紙による筆談でコミュニケーションをとる

発表は自席で行うなど発表の環境に配慮する。発表場面では筆談を活用する

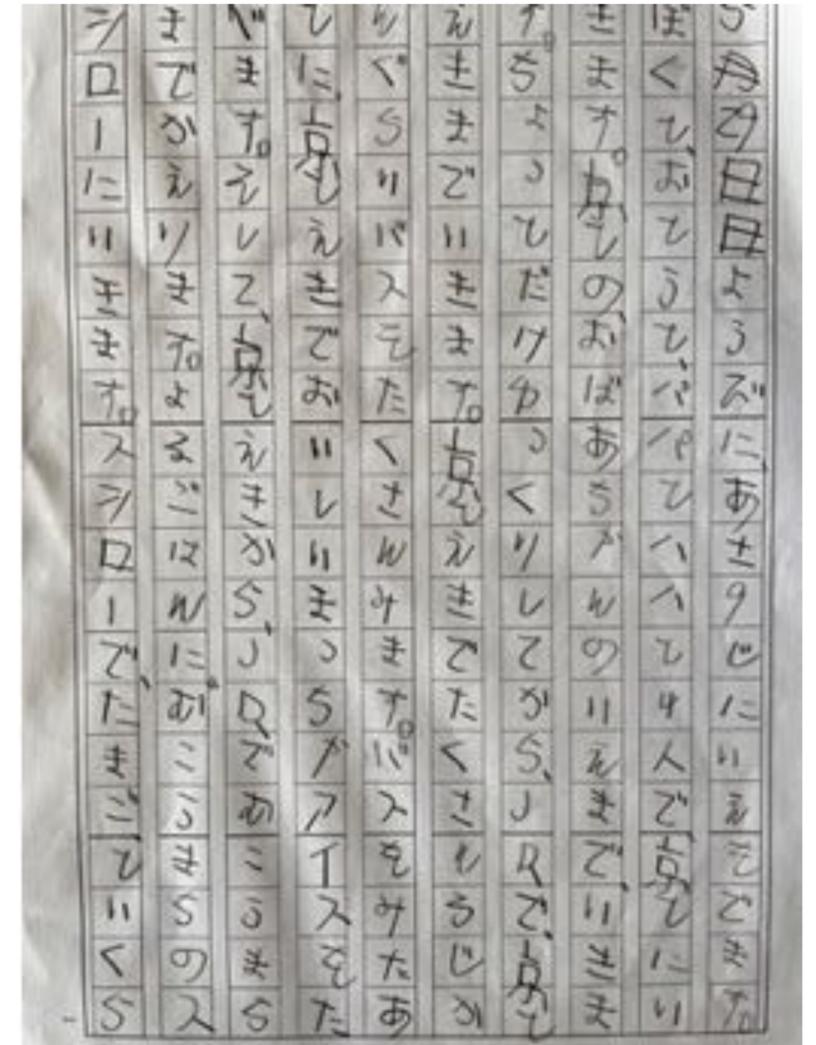
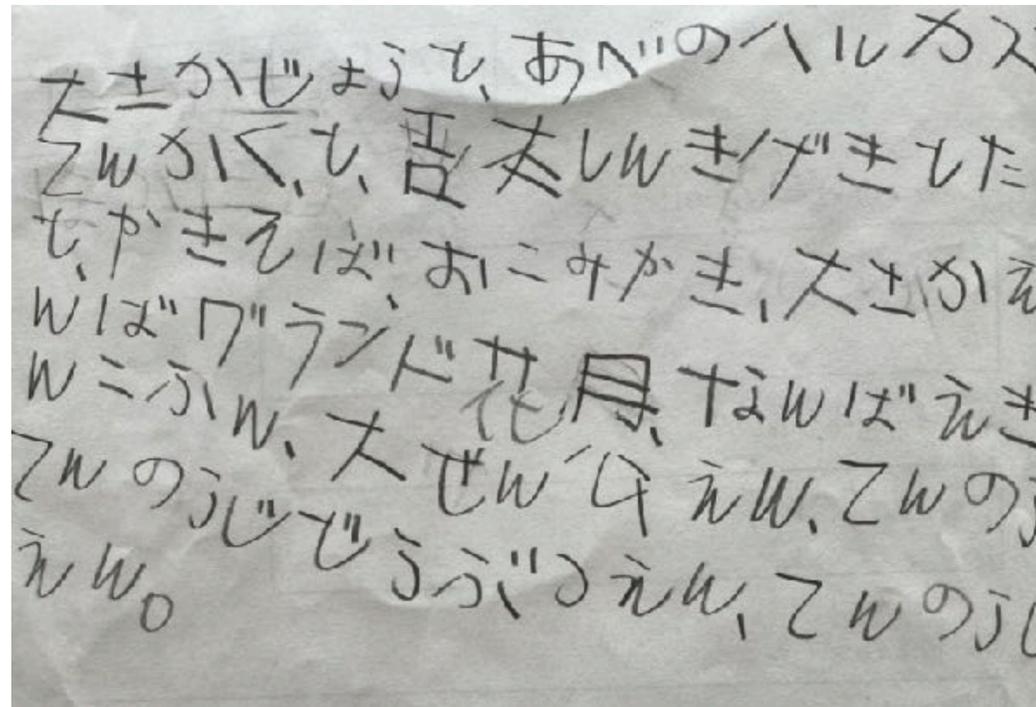
# 具体例

ノートに筆談でやり取り

授業ではタブレットも

可能性・選択肢を広げる

未来から逆算して



# 授業

## \* 2つの柱

### 教科の力

- ・ 各教科の学習内容
  - 「国語」
  - 「数学」
  - 「社会」
  - 「外国語」
  - 「音楽」
  - など

← 教科を教える

教科で教える →

### 自立活動

- ・ 得意を活かし  
苦手を補いよりよ  
く生きる力
  - 「指先の器用さ」
  - 「コミュニケーション」
  - 「精神的な安定」
  - など

授業でつけて欲しい力

**教科の勉強 + 自立活動**

**数学の授業**

教科の勉強  
「数の学習」

自立活動  
「おはじきを  
うつしかえる」

教科を教える

教科で教える

# 具体例

## 「10」の大きさ

### 教科の力

- ・ 10 という数の理解

### 自立活動

- ・ 指先の器用さ

(目でみて、ねらって指で  
つまむ)

ビーズを卵パックにつまんで  
うつす

\* ビーズの大きさを変える

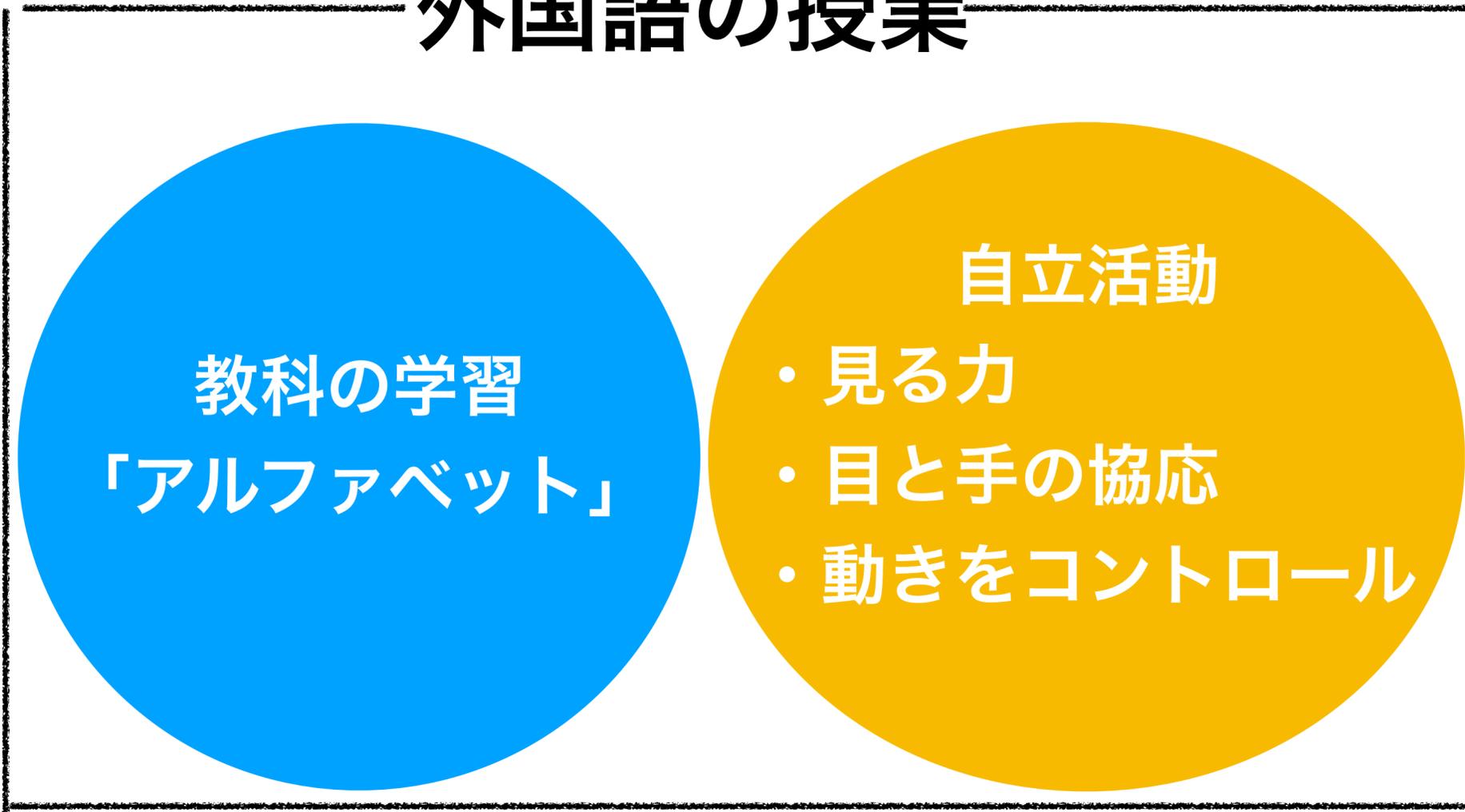
お箸でつまむ

目でみてわかる

# 授業でつけてほしい力

教科の勉強＋自立活動

外国語の授業



教科を教える

教科で教える

# 具体例

## 「アルファベット」について知る

### 教科の力

- ・ アルファベットについて知る

### 自立活動

- ・ 見分ける
- ・ 見続ける
- ・ 目と手の協応
- ・ 動きのコントロール

\*素早く反応する

\*動きを止めて待つ

☆ただ待つのは辛いけど・・・



タイム

# 個別の指導計画

**1年間（前期・後期）各教科で**

**何を**

**どう学ぶか**

**（そのために必要な支援は？）**

**教科で学習すべき内容：ねらい**

**自立活動的な課題：教材教具の工夫，活動内容の設定**

**支援の手立て：学ぶための支援**

# 個別の指導計画

支援計画の内容  
各教科の指導計画に  
連携させる

学部		中学部		8		9	
講座名		国語		読込ボタン		保存ボタン	
グループ		4				指導計画のみ	
段階		小学部3段階					
担当者		樋井 一宏		参考(教育支援計画)			
学部	年 組	児童生徒名	年間目標	支援の手立て	シラバスのある教科 重点目標 ※プルダウン選択		
中学部	2 ●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったときに、動作や言葉で伝えられるようになる。</li> <li>・授業の準備や移動を自分から行えるようになる。</li> </ul>	<p>支援の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りへの支援が必要な時には、どのような言い方をすればよいかを伝える。返答の場面では、選択肢を提示し自分で選ぶことから、少しずつ自分で考えた意見を伝えられるように移行する。促しの言葉かけを減らし、できるだけ見守りの中で、自分で考える時間を設ける。</li> <li>・時間割を元に活動内容を事前に予告し、見通しが持てるようにする。</li> </ul> <p>配慮事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向上肢・体幹機能障害のため、ウォー</li> </ul>	ア 出来事など話の大体を聞き取っている。	イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。	ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。
中学部	2 ●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の基本動作（手を洗う、歯をみがく、衣服を正しく着るなど）の重要性を理解し、正確に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度は本人の自主性にまかせ、しっかり見守る。服装の乱れが顕著なときや、手洗いや歯磨きが必要なのにあきらかに失念しているときには適宜言葉かけをして、好ましい生活習慣の大切さがわかるようにする。</li> </ul>	ア 出来事など話の大体を聞き取っている。	イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。	ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。

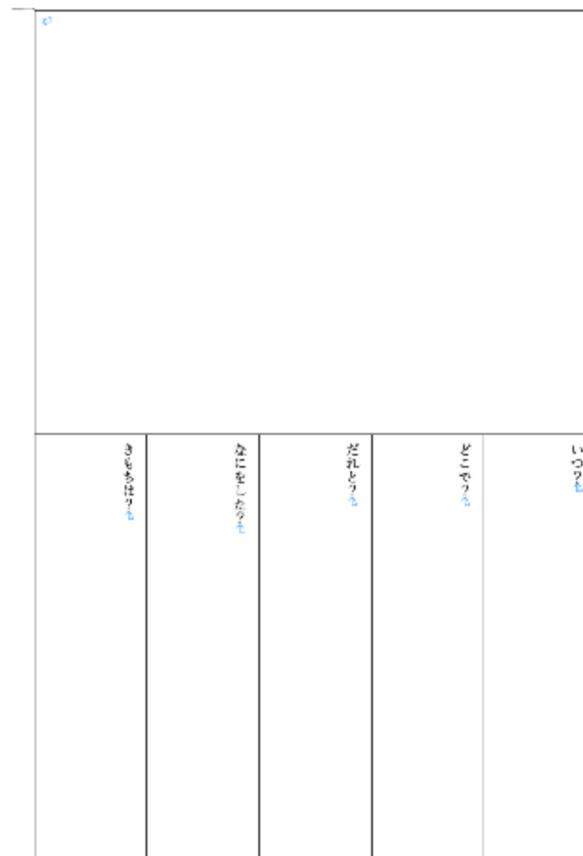






# 具体例

作文が苦手なんです  
どうする？



実際には  
何が苦手？

字を書くこと→タブレット

入力方法：ローマ字・かな・音声・フリック

たくさんの言葉を繋ぐこと→画像と組み合わせ

恥ずかしい→アバター

原稿用紙に

ヒントをつけたり

文字数を減らしたり、

絵で補助できるようにしたり

自分に合った方法を見つけて

選べるようになる

# 今日の予定

**2、授業までの流れ**

**3、個別最適化（実践例）**

**4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を**

# 個別最適化

同じ目標、同じ学び方で良いの？

目的は「学ぶこと」

アクセスの方法はそれぞれ違って良い？

作文：経験を文章にまとめ伝える（目的）  
紙と鉛筆、タブレット、録音、代筆（手段）

環境でなんとかなることは環境で

2枚のスライドを比べてね

障が<sup>い</sup>い？

障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

2枚のスライドを比べてね

障が<sup>い</sup>い？

障害？

言葉狩りではなく、自分の意思表示

# 具体例

じっとするのが苦手

高いところにのぼりたい

実際には

椅子の代わりに

バランスボール

椅子の座面・背もたれに

空気を抜いたボール

→動きたいを保証

でも他の人を邪魔しない

実際には

のぼりたくなるもの

のぼったら困るもの

なくす、隠す

おこななくても

良いもおかない

置く場所の工夫

# 具体例

人の視線が苦手。

でも、みんなと同じ課題に取り組みたい。

どうする？

実際には

座席の工夫

カーテンで囲う

\*みんなと違うのは嫌

→座席を一番後ろの端に

【環境】を整えることも支援

→自分で伝えられるように

「個別の教育支援計画」に記載

次のステップでも継続できる

# 具体例

俳写を作る

- ・ アイデアは手書き  
または

メモアプリ（50音、ローマ字、音声入力、手書き）

自分の得意（不得意）な方法を知る



- ・ 作品はiPadでKeynote



ICT機器の活用経験を積む

全ての活動に意味を持たせる



# 具体例

考えをまとめる

Canvaを活用して

- 個人で作業
- 他の人の意見を見られる
- 参考にできる
- コメントをつけられる

発言しなくても意見の表明

\*SNSの使い方



でも、1人でじっくり考えて  
ほしい時は・・・

あえて、他の人の意見を見れない環境で

目的に応じた学習環境を

べんきょう  
勉強ってなんだ?

べんきょう  
勉強のイメージ

写真やイラストを  
入れよう

- ・学校・教科・好き嫌い分かれる・理系、文系
- ・楽しいときもたまにある・わかればおもしろい・基本的には好きではない

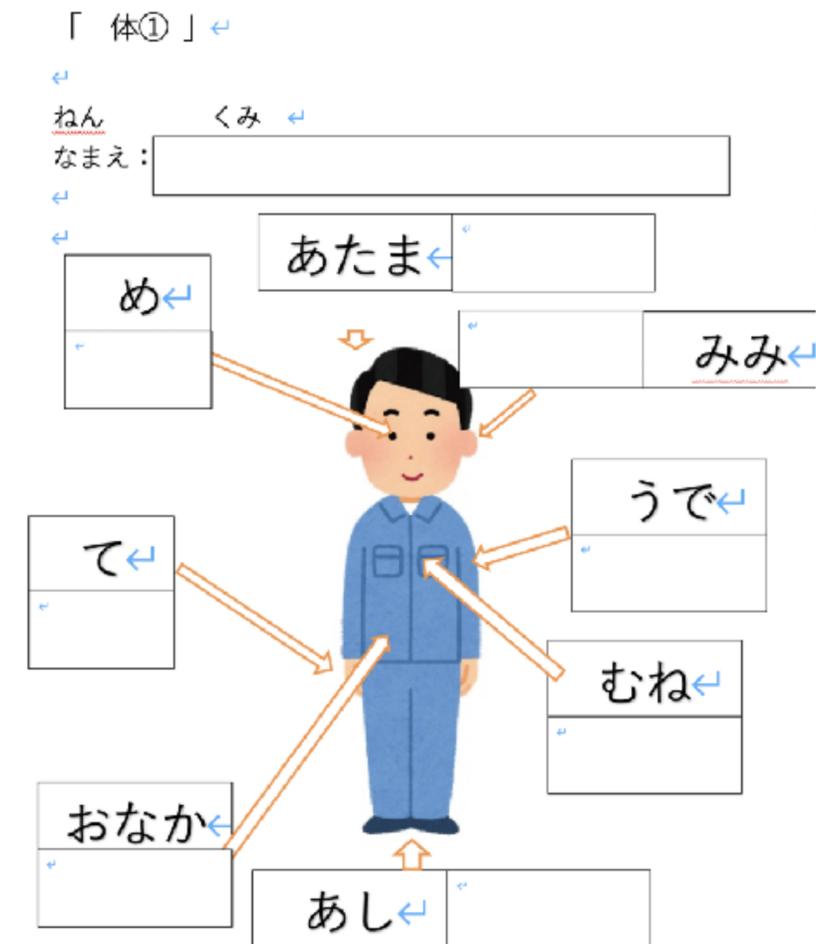
ひつよう  
必要?

- ・生活するためには知識が必要。
- ・お金を稼ぐために必要。
- ・話したり、聞いたり、誰かとコミュニケーションをとるためには必要になってくると思う。相手の話すことや伝えたいことがわかるためには必要な・・・?

# 十人十色

同じ課題であっても  
アクセスの方法は人それぞれ  
スピードもそれぞれ

10人いれば  
最大10通りのプリント



# 十人十色

同じ課題「喋ることが難しい」であっても

アクセスの方法は人それぞれ

筆談も

ICT機器も

ジェスチャーも

要因や本人の背景に合わせて「支援」を考える

# 例えば生成AI

同じツールを使っても  
絵が得意（好き）、  
苦手（嫌い）

使い方は人それぞれ

自分に合った方法で

名前：  日付：2月7日

## AIについて考えよう

もう、人が絵を描くのはムダ？

**私の意見**  
無駄ではない

**理由**  
人がそれぞれ  
個性的な絵を描くから

<b>人が描く良いところ</b> 模様を自分自身の想像して描くことができる。他の人のまねをしながら描くことができる。ゆっくり描く	<b>AIが描く良いところ</b> 早い 細かいところも描ける 描く色塗りも細かくできる。
---	--

**私の結論**  
人は個性的で楽しく絵を描くけど  
AIは細かくて早くて負担が少なくて  
AIに任せること  
書き方のコツを教えよう  
苦手な人は任せる

1

名前：  日付：

## AIについて考えよう

もう、人が絵を描くのはムダ？

**私の意見**  
無駄ではないけど必要ないかもしれない

**理由**  
筆を動かして紙に人や物を生み出すのは人間が持つ力の一つ、でもAIの方が命令さえすれば的確に人が描くより早く描ける、でもそうしてどんどんAI任せにすればいずれ人類は廃滅して滅びると思う

<b>人が描く良いところ</b> 感情がこもる	<b>AIが描く良いところ</b> 命令さえすれば的確に早く美しい絵が描ける
----------------------------	---

**私の結論**  
AIに任せきりにしても楽しくない、やりがいを感じない  
参考にするのは有りかも

2

名前：  日付：

## AIについて考えよう

もう、人が絵を描くのはムダ？

**私の意見**  
ムダじゃない

**理由**  
書くのが好きだから

<b>人が描く良いところ</b> 楽しい	<b>AIが描く良いところ</b> 書くのが早い
-------------------------	-----------------------------

**私の結論**  
ムダじゃない 絵を描くことが楽しいから

3

# 社会の一員として



世界と無関係ではないという自覚  
本物に触れたことがあるという経験  
触れたからこそわかる

苦手なことを知る。  
アクセスの方法を知る

- 自分で情報を得る習慣  
きっかけが必要。  
新聞？TV？インターネット？  
SNS？  
触れたことがあるって大切。  
自分に合うものを自分で選ぶ

当たり前は変わる、当たり前を疑う

作文は紙と鉛筆で

学校には毎日行かなければならない

調べ物は辞書・本を読んで

手を挙げて・大きな声で

など

身の回りには「社会のデザイン」がたくさん

# 大切なこと

時代は変わる

**×**僕らが（過去）学んできたように学ぶ



**○**僕らが（今）学ぶように学ぶ

# 今日の予定



## 3、個別最適化（実践例）

## 4、まとめ # 特別支援教育が特別じゃなくなる日を

予定がわかった方が集中しやすいよね？

それは、支援学校だけ？

# まとめ

特別支援教育：社会のデザインが原因で困っている人への橋渡し

こうしたら、少し楽になるかも。これなら、できるね。



困難さが減ったら、得意なことにもっと力を注げるね



それって、幸せじゃない？

困ってるのは、支援学校の生徒だけ??

# 特別支援教育が特別じゃなくなる日を



特別支援教育：最先端でかっこよくて めっちゃ楽しいで！！

ありがとうございました

まずは自分が触って、学んで  
子どもたちと  
一緒に面白がって・楽しもう



# 子どもたちの作品



【生徒作品】西浦支援学校 中学部 紹介動画

大阪府立西浦支援学校 地域支援室チャ...

608 回視聴 3 か月前  
本校の生徒が授業で企画から撮影、編集、アップロードまで行いました。  
西浦支援学校 中学部の紹介動画です。  
もっと見る



遊びながら学ぶ

# 今興味があること

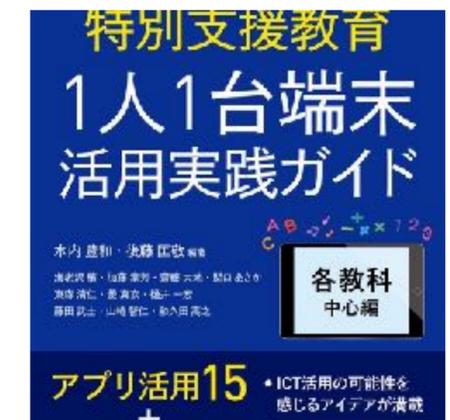
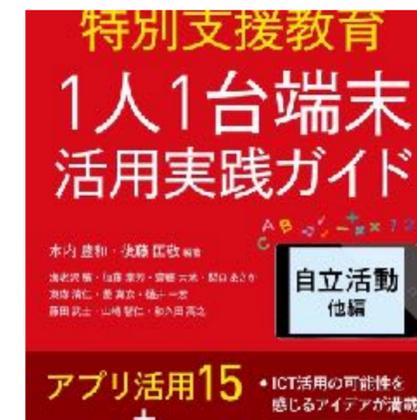
ICT機器で心身機能の拡張



生成AIをどう支援に活用するか

情報モラル教育

プログラミング的思考



ICT機器による情報の受信と発信・クリエイティブ

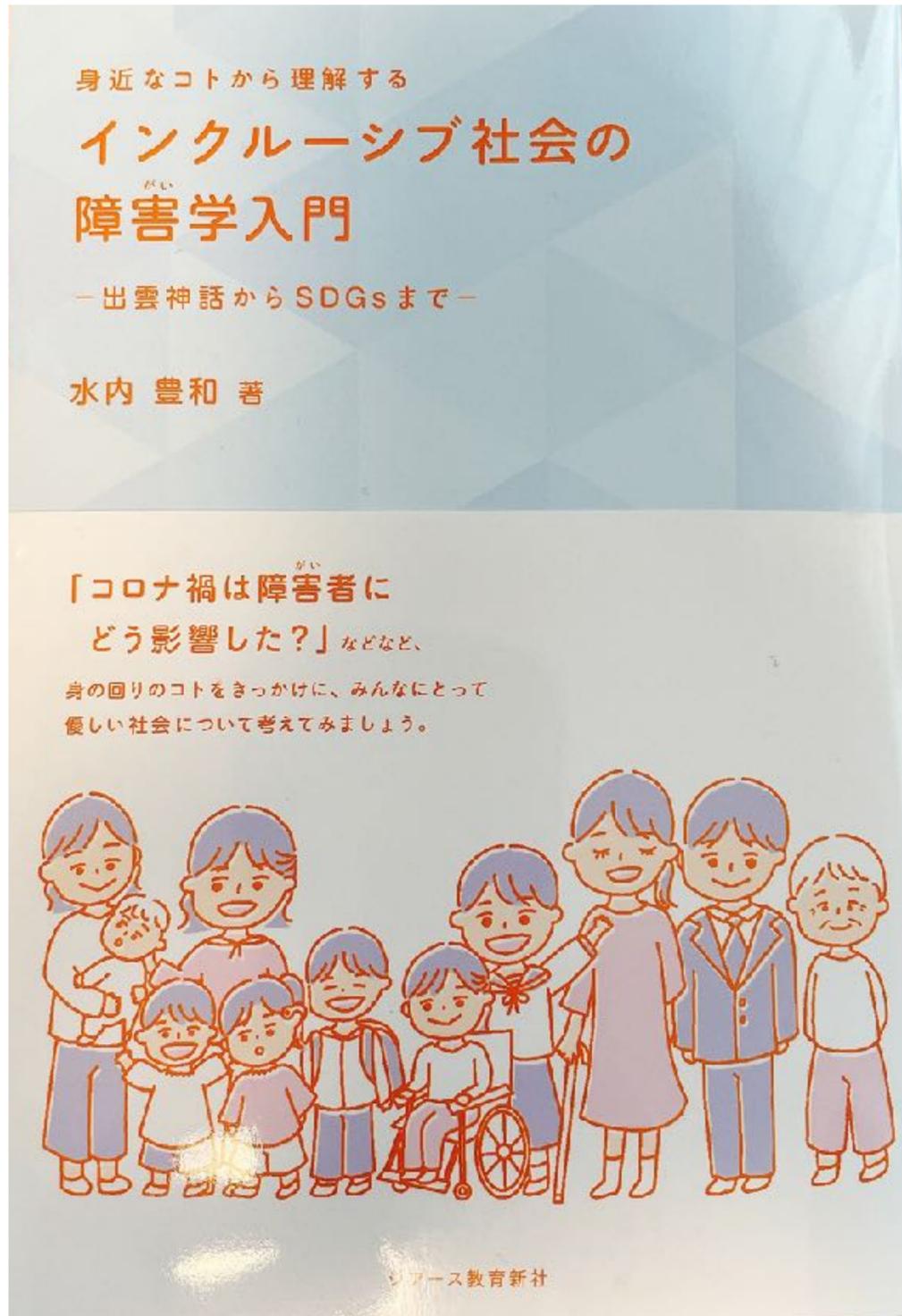
## 特別支援教育って特別じゃなくて

## 最先端でかっこいい

もっと 特別支援教育を知りたい人に

おまけ編

# おすすめ本



『身近なコトから理解する  
インクルーシブ社会の障害学入門  
—出雲神話からSDGsまで—』  
(ジヤース教育新社)



これから 特別支援教育について学ぶ人にぜひ読んでほしい1冊

「カラオケ×障害」や「カレー×障害」など身近なコトから  
障害やインクルーシブ社会について楽しく知って、  
前向きに考えることのできる本。

# ホームページ・YouTube



HP 『ダッシュニンの特別支援教材室』

特別支援教育に関する教材や、研修資料、  
役立つアプリなどを紹介

YouTube ダッシュニン チャンネル

「朝の会」

「特別支援教育×○○」をテーマに  
ラジオ形式で配信



#特別支援教育が特別じゃなくなる日

ダッシュニンHP  
教材のダウンロード、アプリ紹介

いろいろプロジェクト  
特別支援教育の  
いろいろ  
特別支援教育知識、オンライン研修

朝の会  
ラジオ形式  
毎週毎週月曜日 7:00 配信

ダッシュニンチャンネル  
動画でCheck!  
教材やアプリの使い方

わわのわチャンネル  
福祉に関する動画

ダッシュニン  
特別支援学校 教員  
日々の中で特別支援教育の現場を伝えています。  
役立つアプリや教材、書籍の紹介もしています。

2024年「ITスキルアップ」連携実習  
「特別支援教育」連携  
「福祉IT活用」特別実習「特別支援」連携  
「特別支援教育の実践」連携  
「ICT活用と特別支援教育」連携  
ホームページ「特別支援教育」で紹介しました。

連絡先: dashnin.kyouzai@gmail.com

よければ使ってね・・・ #特別支援教育が特別じゃなくなる日

参加費  
無料



# 第1回 ひとりひとりが輝ける新しいかたち ICT作品コンテスト

作品募集中！ 9/30（月）まで

**表彰式**  
12/14(土) 13:00-14:30  
**会場** Zoomによるハイブリッドで開催  
株式会社内田洋行 新川本社  
ユビキタス共創広場CANVAS東京  
〒104-8282 東京都中央区新川2-4-7



**実行委員長より**  
ワクワクをお待ちしています！  
実行委員長の菱 真衣です。  
特別支援教育※を受けている子どもたちやその支援者（先生・学生）のみなさんの、ワクワクする未来を期待できる作品や教材、授業のアイデアを募集しています！応募してくれた方全員に賞を送ります。  
※特別支援学校、特別支援学級、通級指導など

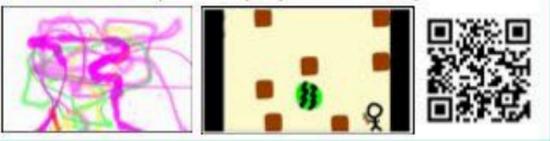
### 3つの部門があります

特別支援教育を受けている  
**児童・生徒部門**  
①テーマ制作「未来へのメッセージ」  
②自由作品制作

特別支援教育に関わる  
**先生部門**  
①授業実践  
②ICT教材

特別支援教育を学んでいる  
**学生部門**  
①授業アイデア  
②ICT教材

**詳しい説明と応募はこちら**  
**ICT作品コンテスト 募集サイト**  
写真、動画、作曲、ポスター、プログラミング、AI、AR・VR、視線入力など、児童生徒部門では、何かしらICTを用いたクリエイティブな作品であれば、どのような作品でも大歓迎！先生部門、学生部門は、教材や授業のアピールポイントを応募フォーマットに記載してください。全員が表彰されるほか、入賞した児童生徒には豪華副賞もあります。  
詳しくは募集サイトをご覧ください。ジャンル紹介や応募手続きのほか、実行委員が作った作品のサンプルや保護者向け同意書などがあります。  
<https://sites.google.com/view/sig-se-ictcontest/>



# ICT作品 コンテスト

<https://sites.google.com/view/sig-se-ictcontest/>



**主催：日本教育工学会 JSET  
SIG-SE（特別支援教育）**

代表：水内豊和（島根県立大学）  
実行委員：菱真衣・樋井一宏・和久田高之

**協賛：株式会社内田洋行**



**問い合わせ先**  
<https://forms.gle/Fi5GwE2849KFBPKJ9>

ホームページの説明をお読みいただいた上で、お問い合わせください。

